

試料・情報利用研究計画書(概要)						
審査委員会 受付番号	2022-3015-1	利用形態	内部研究	利用する 試料・情報	試料:末梢血、さい帯血、唾液等 情報:東北メディカルメガバンク計画が収集した、約15万人のゲノム・コホート情報	
主たる研究機関	いわて東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関		
研究題目	東北メディカル・メガバンク事業における3層オミックス解析			研究期間	2023年3月13日 ～ 2027年3月31日	
実施責任者	須藤 洋一	所属	いわて東北メディカル・メガバンク機構	職位	特命准教授	
研究目的と意義	東北メディカル・メガバンク(TMM)事業研究計画に則り、ゲノム情報やDNAメチル化情報、ならびに遺伝子発現情報を統合し、3層オミックス解析を行う。TMM計画の掲げる個別化予防・個別化医療の実現に寄与する。					
研究計画概要	東北メディカル・メガバンク(TMM)事業研究計画に則り、ゲノム情報やDNAメチル化情報、ならびに遺伝子発現情報を統合し、3層オミックス解析を行う。 東北メディカル・メガバンク(TMM)計画に基づき収集された末梢血、さい帯血、唾液等の検体を元にDNAメチル化解析及び遺伝子発現解析を実施する。これらに対応する個人のゲノム・コホート情報と統合し、3層オミックス解析を実施する。 これにより、新たなバイオマーカーの発掘や、生活習慣を反映した生物学的年齢推定法、リスク評価法の開発・検証などを進め、TMM計画の掲げる個別化予防・個別化医療の実現に寄与する。また、公開可能な解析結果をiMETHYL等のウェブサイトで広く公開することで、国内外のエピゲノム・トランスクリプトーム解析を推進する。					
期待される成果	公開可能な解析結果を、論文発表、コホート連携等を通じ他研究者へ提供することで、国内外のエピゲノム・トランスクリプトーム解析を推進する。					
これまでの倫理 審査等の経過	「東北メディカル・メガバンク事業 地域住民コホート調査」(受付番号HG H25-2平成25年4月4日承認)					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	機微性の高い個人識別符号(個人の配列情報など)は東北大学東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピュータまたはセキュリティ管理可能な外部記憶装置内で他の情報端末と物理的に遮断された状態で保管される。東北メディカル・メガバンク計画の参加者は東北メディカル・メガバンク計画ウェブサイト(http://iwate-megabank.org/about/publication/)に記載の研究全てに自身が含まれる可能性があり、撤回の自由があることをすでに理解されている。					
その他特記事項	本研究は、岩手医科大学学内研究費、東北メディカル・メガバンク計画一般会計、および科学研究費補助金により実施する。本研究課題に関連し、研究代表者および研究分担者は関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益は得ておらず、開示すべき利益相反はない。					
*公開日:2026年3月6日						